



防災会だより

第 32 号

発行:平成 23 年 04 月 20 日

発行責任者 : 防災会次長
橋本壽与

災害時避難活動のあり方

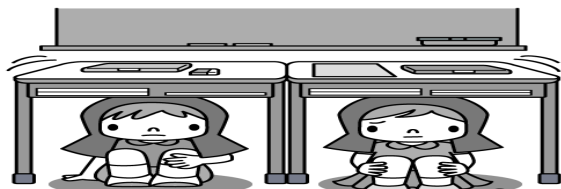
自治会長 / 防災会長 佐伯芳夫

東日本大震災の被災地では、復興に向けて今日も懸命な努力が続けられています。身近に「東海大地震」の可能性を抱えている我々にとっても、いつこの規模の災害が我が身に降りかかって来ても不思議ではありません。

幸い、我が松風台には、先人諸兄の知恵と努力で「松風台防災会」が作られており、いざという場合には組織的に避難救護活動が出来る仕組みが出来上がっています。然しながら、我々は幸運にもこの組織を実際に動かすような災害に見舞われていないため、いざという時にこの組織が有効に働くかどうかは、正直のところ未知数です。それを確認する方法は、日頃の訓練しかありません。

今回の東日本大震災で高さ 15 メートルの津波に襲われ、破壊的な人的物的被害を被った陸前高田市の海岸沿いにある長洞地区は、住民 300 人ほどの集落ながら津波による行方不明者を 1 人出ただけで、他の住民はいち早く高台に逃れて無事、という奇跡的な幸運に恵まれました。これは、街の要所要所に「向こう 3 年間に大津波の来る確率は 99%」というポスターを掲げて、防災指導者のもとで住民が毎月のように避難訓練を繰り返していた結果だ、ということです。然しながら我が松風台は、防災会の役員を含めた住民全体が高齢化しつつあり、日頃の防災訓練もままならないのが現実であり、防災組織に余多くの期待を掛けることは難しいと言わざるを得ません。

一方で、防災・避難活動は「100回の訓練より、1回のキャンプ」という言葉があります。いざという時には、日頃の訓練よりも例えばキャンプ・ファイヤーを囲んで親しくなった近隣のお知り合い同士による「助け合い」のほうに頼りになる、という意味です。実は、防災活動に限らず、住み良い、美しい街作りにもこの考え方は大変有効なのです。何も松風台の皆さん全員とキャンプに行こう、などとは申しませんが、少なくとも班単位での住民の皆さんの交流は必要かと思えます。勿論、防災会の開催する防災訓練には積極的に参加して頂く必要がありますが、上記の観点からこれからいくつかの企画を提案させていただきますので、それにもご参加頂きたいと思えます。それがいざという時に貴方や貴方のご家族の身を守ることになるのです。



東日本大震災に遭遇して

防災会次長 橋本壽与

先月 11 日午後は自宅に居て防災無線から緊急地震速報の警報音が鳴り響いて大きな揺れが発生し、それ以降の地震・津波・火事・原発事故の悲惨な状況は毎日報道され続けている通りです。

【防災体制は一步前進】

茅ヶ崎市は震度<5弱>で、松風台では物が転倒した程度で幸いにも大きな被害はありませんでしたが、

- ・自治会班長・避難班員には直ちに自分が担当する要援護者宅を訪問して、安否確認した方々がおられたことを見聞きし共助が整いつつあることが証明できました。
- ・たまたま在宅していた防災会役員 4 名は周辺の様子を把握しながら直ちに自治会館(災害対策本部設置場所)に参集して状況確認のうえどうするか相談しました。
- ・その後、計画停電が実施される報道を知り、臨機応変に、会長の適切な判断でその日のうちにほぼ全戸に自治会連絡網を通じて緊急連絡メモが配布されました。

【しかしながら、本当に松風台が大災害に遭遇したら】

- ・被災地で大津波を予知し最初の 30 分間でどう行動したかが生死を別けた事例が多く報道紹介されています。松風台の家屋が倒壊するような大震災が発生した場合に、松風台災害対策本部の設置方法や設置したことをどうやって住民に伝えてどう動くのか もう一度 様々な事態を想定して見直しの必要性を痛感しました。
- ・更には、3 か所の防災倉庫に配備された消防ポンプや色々な目的の資機材類を、防災会長も指摘されている通り現在の防災要員で有効に使いこなせるのか、想定しただけでも極めて疑問であります。

【今年度の課題は】

今回の大震災の報道には「想定外」と言う言葉が多く使われていますが、私たちの身の回りには想定はしているものの対策まではしていない”対策外”の場合も未だに多く残っていると想定されます。まず容易に対策できる”対策外”を直ちに減らしましょう。

- ①自助：まず、長時間にわたり電気・ガス・水道や電話が使用不能になった場合に、自分自身の身の回りで必要なことの備えは完了しましたか？
- ②共助：構築しつつある防災体制(要員・資機材・ルール)が本当に思い通りに有効に機能するのか、基本にかえって見直検討したく、会員の全面的なご協力をよろしくお願い致します。

平成23年度 松風台自治会防災会 事業計画

平成23年4月17日

松風台防災会

1. 事業計画

- (1) 防災知識の更なる普及 ー行政情報なども利用し研修会、防災会だより、ホームページなどを介して普及
- (2) 防災訓練の充実 ー“松風台大災害発生時防災行動指針”に基づく訓練
- (3) 防災用資材、機材の維持管理 ー**主要設備(ガソリンエンジン、無線機)の日常管理**
- (4) その他 ー**自主防災体制見直検討**

アンダーライン部分が今年度の新たな取り組み

2. 年間スケジュール

年間スケジュール					実施結果
月／日(曜)	時 刻	場 所	参 加 者	実 施 項 目	
4/17(日)	15:00～16:30	松風台自治会館	防災会員	総会	開催済/計画通り承認
～4月下旬	—	—	次長発行	“防災会だよりNo.32”発行(事業計画)	発行済み 4/20
5/14 21(土)	18:30～	松風台自治会館	自治会役員・班長	第1回防災研修会 (自治会役員班長対象)	5/21(土)に訂正/4/20
5/15(日)	10:00～	各防災倉庫	各隊長以下隊員	各隊毎に顔合わせ、各班の役目の徹底	
6/04(土)	9:00～10:00	各防災倉庫	各隊長、消火班常任者	発電機、消防ポンプの起動点検	
6/18(土)～19(日)		茅ヶ崎市役所	常任者から選抜	茅ヶ崎市防災リーダー養成研修会へ参加	
8/06(土)	13:00～16:00	香川公民館	救護班員など	普通救命講習会(茅ヶ崎消防本部主催)	
8/ (土)	終 日	松風台南公園	防災会有志	自治会夏祭り(機材貸出、設営などの応援)	(開催未確認)
9/03(土)	9:00～10:00	各防災倉庫	各隊長、消火班常任者	発電機、消防ポンプの起動点検	
9/10(土)	13:00～15:30	松風台東公園	役員、消火班	第1回防災訓練 (茅ヶ崎消防署の指導)	
	18:00～21:00	松風台自治会館	役員、常任者	第2回防災研修会 (消火訓練などの反省)	
9/17 (土)	13:00～15:30	松風台南公園	自治会員	第2回防災訓練(移送など) 雨天の場合は翌日	
10/22(土)	午 前	香川小学校校庭	自治会員	湘北地区自治会連合会の防災訓練	
10/29(土)	19:00～21:00	松風台自治会館	役員、常任者	第1回役員常任者会 (上期反省、下期計画)	
11月上旬	—	—	次長発行	“防災会だよりNo.33”発行 (年度中間報告)	
12/03(土)	9:00～10:00	各防災倉庫	各隊長、消火班常任者	発電機、消防ポンプの起動点検	
1/08(日)	9:30～11:00	茅ヶ崎市役所	会長、他	茅ヶ崎市 出初式	
1/18(水)	14:00～15:30	茅ヶ崎市民文化会館	役員、市防災リーダー	茅ヶ崎市防災研修会 (市防災対策課主催)	
1/29(日)	18:00～21:00	松風台自治会館	役員、常任者	第3回防災研修会(防災知識普及)	
2/12(日)	13:30～15:30	松風台自治会館	自治会員	第3回防災訓練(内容は別途立案)	
3/03(土)	9:00～10:00	各防災倉庫	各隊長、消火班常任者	発電機、消防ポンプの起動点検	
3月上旬			次長	茅ヶ崎市役所へ公園占用許可更新申請の提出	
3/11(日)	19:00～21:00	松風台自治会館	役員、常任者	第2回役員常任者会(今年度反省、次年度計画)	
3月中旬	—	—	次長発行	“防災会だよりNo.34”発行(事業実施報告)	